

VIEW

何で「ビデオ撮影」まで必要なんですか?!

「第2回B担務訓練」の目指すところは?!

10月25日から「第2回B担務訓練」が行われています。まだ実際には数名の社員しか訓練は実施されていませんが、「掲示」によると今回の訓練の目的は、「ルール of 厳守を目的とした標準化項目の確認を行う」ということですが、今回の訓練の特徴は「作業者が台車の検査を行っている状況をビデオに撮って振り返りを行う」というものです。しかし、標準化の確認をするなら「訓練の立会い者」が手順の違うところを指摘すれば充分ではないでしょうか。

管理者に「ビデオの扱い」について尋ねたところ「訓練に使用するだけで終了後は消去する」「よほどのことがない限り人事考課に反映させるようなことはない」と言っていますが、聞くところによると複数の作業者の撮影を行い、その後管理者は同席しませんがプロジェクトのメンバーを含めた複数の社員でビデオを見ておかしい箇所等の感想を出し合い、良いところや悪いところを確認し合うそうです。

記録として残る映像で「社員管理」されるのは気持ちのいいものではありません。そればかりか「社員相互」で活用するというのもう一つ気になります。

今、会社はさまざまな問題を孕みながら「リニア中央新幹線建設」に向けて躍起になっています。その実現に向けていろんな効率化施策を推進しています。かなりのことをして「資金」を捻出しないと「リニア」は実現できません。会社は先日も「非現業の効率化」を行うことも表明しましたが、「比較的高い賃金を支払う管理者が職場にいなくても、安い賃金で働く社員相互に互いを管理させるような職場」づくりを目指していると思うのは考えすぎでしょうか。

社員の皆さんどう思われますか?!